〔文化財伝承等の取組事例〕

「大姶良中学校の大姶良西方棒踊り伝承活動の取組」

１．学校名	鹿屋市立大姶良中学校
２．学年・人数	１年生　20 人
３．日時・場所	⑴　練習の日時・場所 令和６年９月～11 月　総合的な学習の時間（本校武道館） ⑵　発表の日時・場所 令和６年11月１日（金）　文化祭（本校体育館） 令和６年11月３日（日）　岩戸神社大祭（岩戸神社） 令和７年１月26日（日）　大姶良まちづくり大会（大姶良学習センター）
４．伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について	⑴　名　称 大姶良西方棒踊り（おおあいらにしかたぼうおどり） ⑵　由　来 江戸時代に現在の鹿児島市谷山から大姶良村に移住してきた多くの方々によって，大姶良村の守り神であった岩戸神社の神に五穀豊穣・疾病退治・家内安全を祈念するために始められた。 ⑶　構成等 当初は六尺棒だけでの踊りだけであったが，時代が移りゆく中で，踊りをおもしろく変化をもたせ，現在では虚無僧を加え，３人が一組となって踊る『虚無僧踊り』と，六尺棒と太刀のスピード感いっぱいの勇壮な踊りの『松島踊り』の２種類の棒踊りがある。
５．文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	学校と地域が連携協力しながら「大姶良西方棒踊り」を継承していくために，総合的な学習の時間の学習内容「郷土学習」に棒踊りを組み込み，地域での保存会メンバーの指導をいただきながら，文化祭で発表できるように計画を立てて継承活動を行っている。
６．取組の様子（練習状況，発表の場等）	 練習風景 文化祭で披露
７．感想・意見 （参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【生徒】 ・棒踊りを初めて体験しました。とても複雑な動きが多く，パートナーとタイミングを合わせるのが難しかったです。 【教職員】 ・保存会の方々に，棒踊りの起源や目的の説明，踊りの実際などを丁寧に御指導いただきました。非常に貴重な機会となりました。 【保存会】 ・大姶良西方棒踊りを取り入れていただき感謝しています。今後も，生徒たちには地域の伝統文化に触れることで，ふるさと愛を深めてほしいです。